

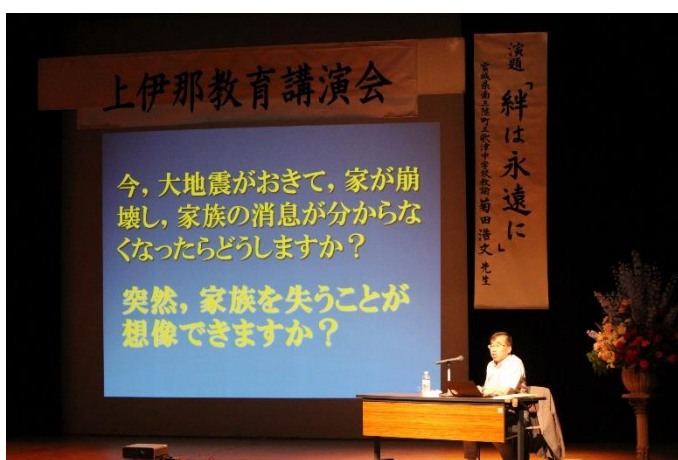
発行所  
伊那市荒井  
3500-1-401  
上伊那教育会館内  
長野県教職員組合  
上伊那支部  
編集発行人  
田中 孝弘

# 上伊那支部 情 報

2019 年  
7 月 16 日  
第 9 号  
職場揭示

支部ホームページ <http://www.kamiina.jp/sub-domain/ntuhp/wordpress>  
組合員用 パスワード : ntu2453

## 絆は永遠に ～災害から学ぶ～ (上伊那教育講演会)



7 月 7 日（日）に、宮田村民会館大ホールにおいて、2019 年度上伊那教育講演会を開催しました。今年度は、宮城県南三陸町立歌津中学校教諭 菊田 浩文先生をお招きし、「絆は永遠に」と題してご講演いただいたところ、総勢 230 名を超える皆様にご参加いただきました。東日本大震災が起きた時、渦中にいた子どもたちや地域住民の方々が助け合い、支え合っていた姿を話されながら、災害への備えの大切さと互いに思いやれる絆について熱く語っていただきました。

上伊那教育講演会は、児童・生徒理解専門委員会が作成したアンケートとも関連させながら、10 月～11 月に中学校区ごとに行われる教育懇談会につなげていきます。教育大運動の一環として『災害に向けた備えと人とのつながり』について、皆さんとともに考えを深めていきたいと思ひます。

### 【参加者の感想（抜粋）】

- 中学生の活躍に大変驚きました。誰に指示されたわけでもないのに、考えて動ける子どもたちに大人たちも力をもらったというところに涙が出ました。『あの被災があったから、ここまで強くなれた』という卒業生の言葉に、とても胸が熱くなりました。地域の方との絆を大切にしていきたいと思ひました。
- お話を聞くまで、災害に対して無知で、重く考えたことはありませんでした。しかし、災害はいつ来てもおかしくないということに気づき、今から備えた方がよいと思ひました。菊田先生の話がとてもリアルで、切なくなり、悲しくなりました。話をお聞きすることができて、とても感謝しています。
- テレビや新聞などの情報はほんの一部なのだなと感じました。生々しく、大変な体験談は、お話しされるのもきつとお辛かったです。やはり、体験談ほど、心に響くものはありません。親である私たちがまずお聞きできたことは良かったです。家でも、もう一度、防災についてしっかり話し合いたいと思ひます。

講演会に参加された皆様にご協力いただいた義援金は、32,537 円にもなりました。この大切な義援金は、8 月上旬に現地の方に確実に届けて参ります。ご協力、ありがとうございました。

# 上伊那の子どもたちのために (上伊那教育七団体伊那養護学校訪問)



解消していきたい段差も多数



きれいに整備されたトイレ



フールのトイレは敷地外



子どもたちの素敵な作品の数々



先生方の愛情がにじみ出る指導



技を磨き社会へ羽ばたく高等部

7月1日(月)に上伊那教育七団体連絡協議会で伊那養護学校を訪問させていただきました。上伊那教育七団体として、酒井裕司さん(上伊那PTA連合会長)、林武司先生(上伊那教育会長)、小林久通先生(上伊那中学校長会長)、二木栄次先生(上伊那長頭組執行委員長)などをはじめ、たくさんの方々にご参加いただきました。

今回、訪問をさせていただき、毎年の継続した要望により改善されている箇所はあるものの、まだまだ十分とは言えない環境であることを感じました。施設・設備、教育予算・消耗品などたくさんの問題を抱えながらも一生懸命に子どもたちと向き合っている伊那養護学校の先生方の姿と、十分とは言えない環境の中でも、『自分から自分で 精いっぱい そして一緒に』の学校目標に向かって学習に取り組んでいる児童・生徒の姿を目にし、学習環境改善に向けて、これからも継続して関係当局へ要望を伝えていきたいと思います。

## 【伊那養護学校の先生方のご意見】

- 老朽化して撤去された遊具が新設されないでいる。子どもたちの活動の幅を広げるためにも、一刻も早く新設をお願いしたい。
- 多様な生徒がいて、個別の対応が必要であるにも関わらず、個別学習ができる環境がない。カーテンやロッカーで仕切り対応をしているが、隣からの音が苦手な児童・生徒には対応しきれていない。
- 車イスの生徒の移動手段が確保され、安心して修学旅行等の宿泊行事に参加できるように、リフト付きバス貸上げのための補助があるとよい。
- 医療的なケアを必要とする児童・生徒への対応のため、支援員を増やしてほしい。
- 防災訓練で、防災物品の欠如をあらためて感じた。児童生徒の命にかかわることなので、早急に防災物品購入の予算をつけていただきたい。